

## ○評価(再掲)

まもなく衣替えがあり、ほどなくして定期考査(6月19日～24日)が始まります。

考査を実施する科目は100点×50%～70%の割合で『考査による評価(知識・技能/思考・判断・表現)』が算出されます。『考査以外による評価』と合わせて1期の学習成績となります。以下、評定の確認です。

評定	1	2	3	4	5
学習成績 年間平均点	0～39点	40～49点	50～69点	70～79点	80点～

※3観点(知識・技能/思考・判断・表現/主体的な態度)についてそれぞれA～Cで評価されます。

## ○考査直前は・・・?

3年生にもなると、考査前の学習・生活スタイルが安定している生徒が多数見られますので、取材してきました。

生徒(学年)	考査前の学習と生活で大事にしていること
SRさん (3年生)	本気で勉強する時は2週間前から対策開始。ルーズリーフに青ペンで書きまくる。特に漢字や単語はこれ。数学はプリントの問題をひたすら解く。誰かに問題を出してもらうのも○。1時間勉強、休むの繰り返し。スマホは時計やタイマーにして勉強すると集中できる。
SRさん (3年生)	苦手な教科を考査の1週間前から始める。ノートに繰り返し書いて勉強。英語は音読する。暗記の問題をノートに作って解く。短時間勉強(30分くらい)を繰り返す。スマホはしないようにしている。
SEさん (3年生)	単語とか音読をスマホで録音して覚える工夫をしている。自分の声の方が記憶に入ってくるから。英語や暗記のものにオススメ。30分勉強、10分休憩を繰り返す。本格的に勉強するのは1週間から2週間前から。
OMさん (3年生)	考査の1週間くらい前から計画的に始める。1日2、3科目勉強。試験の日程から逆算して計画的に全部勉強する。ひたすら書くスタイル。友達に教えると覚えられる。家でもコツコツやる。短時間(30分)集中して取り組む、休憩、短時間集中のサイクルで継続。
KTさん (3年生)	書く勉強はしない。時間がかかるから。基本勉強はしないが、その分授業だけは集中して受ける。家だと1人だし、自分の好きなスペースすぎて、気が散ったりするので、やる時は学校で誰かと。

普段から真剣に学習に取り組みつづ、考査前にはさらに学習にシフトしている生徒が多く、参考になりました。ご協力ありがとうございました。

## ○試験勉強は、なぜ『した方がいい』のか

定期テストが近くなれば、「試験勉強?したことないです」「授業で聞いているから勉強しなくても…」「成績に影響するから対策します」「家で勉強するのは大変なのでしません」「したほうがいいのはわかりますけど、やり方がわからないんです…」という声が聞こえてきます。以下、**卒業生の岩高生時代の意見**です。ぜひ参考にしてご家庭で話題にいただければと思います。

- 試験日程が決まっている＝対策期間が決まっている＝計画的に進めればよい結果になるはず!
- 成績として数字に残って、将来恥ずかしい数字を子供に見せたくないから頑張ります。
- 資格試験も入社試験も、なんでも事前に日程が決まる。その日に合わせて準備をするのはあたりまえですよ。
- チャレンジする機会があれば勉強でも部活でも全力でやります。何事も事前準備が大事です。
- 結果を見てがっかりするなら、嬉しいほうがいいじゃないですか。だからやります!

●**次回のトピック**：「記憶する?」「記録する?」、「1回定期考査後の連絡事項」